

南稜通信

第3号

平成 24 年

10 月発行

長野南高校

創立三十周年記念式典

先輩から後輩へ……

来たる十月二十七日、本校体育館に於いて、創立三十周年記念式典を挙行予定しております。当日は、本校卒業生で作家の駒村重吉氏をお迎えし、記念講演「いまという時代について」を講演していただく予定です。今後とも長野南高校へのより一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



(上、右下) 校舎建設中の工事風景 (下) 昭和 57 年新校舎完成



問い合わせ先

教頭 大日方 博

庶務 藪下 享士

TEL026-284-8850

(学校代表)

TEL026-284-8851

(教務室)

創立三十周年を迎えて

学校長 茶鍋 和統

昭和五十八年四月に第一期生四六九名を迎えて以来、本校は三十年という時の流れを刻んでまいりました。昭和五十八年という年は、全国各地で少子による窃盗・校内暴力・いじめ・家庭内暴力などの事案が報告され、後に少年非行情勢において「戦後第三のピーク」と呼ばれた年でした。都市化による地域の連帯意識の希薄化、核家族化、価値観の多様化などを背景として、地域や家庭における育成環境の低下が指摘され、今から思えば大変困難な時代に本校は船出した事になります。

それから三十年、激動と波乱の渦巻く時代の中で本校も幾多の艱難(かんなん)に遭遇し、前進と停滞、栄光と苦難が絶えず交錯することになりました。特に少子化の影響は本校にも及び、創立当初は三十クラス規模でスタートしたものの、現在は十五クラス規模にまで縮小し、一時は他校との統合が模索されたこともありました。しかし八七〇有余名の卒業生の母校愛と、郷土の繁栄を願ってやまない犀南地区の方々の熱意と卓見が、創立三十周年という晴れの日を本校にもたらしていただきました。記念式典では、本校第一期卒業生でノンフィクション作家 駒村吉重氏(第十四回小学館ノンフィクション大賞受賞。受賞作「煙る鯨影」)をお迎えして記念講演をしていただくことになっています。

本校は、これからも創立以来堅持してきた「意欲・創造・誠実」溢れる南稜生を育ててまいります。これまでと同様に、向上一路の道を歩む多くの中学生の皆さんが本校を目指してくれることを期待し、また地域の皆様には、本校の将来に今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。